

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：令和6年4月1日

事業所名：放課後等デイサービス このひかり赤野校

対象人数（保護者）15人 回答者数 15人 回収 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	4			今後は個別で対応しながら専門的な支援ができるようにしていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	5		スロープはないが、手すり等はある	必要に応じて、対応する。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	12	3			保護者のニーズを検討していき、必要な支援をしていきたい。
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15			色んな活動があり、工夫しているように感じられる。	今後も継続していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	8	2	交流があったか分からないので定期的にイベントがあり、課外活動があるのは良い	コロナが終息したら交流の機会を増やしたい。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	2			今後は利用者負担は丁寧に説明していきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	15			細かい子どもの変化や状況を伝えてくれる。不安定な状態の時や課題のある行動をした際に、どのように対応したのか、きちんと伝えてくれるのはよい。 また、良い行動をした時もきちんと褒めて報告してくれる。	保護者と連携を密にしながら、子どもの様子を伝えていきます
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	5		支援者会議は定期的に行われているが、より事業所内の様子を聞きたいので、事業所との面談ももっとあればいいな、と思う。	事業所参観等を実施し、利用児の事業所での様子等を見てもらったり、直接指導員と話す機会を設ける。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	7	2	もう少し回数があってもいいのかな、と思う。	今後は保護者を含めた交流の機会を増やす。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2			体制を整備して、苦情がおきたときは適切に対応していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	3		先生方も大変そうで、情報が共有されていないように見受けられる	職員間で情報が共有できるようなツールを作ったり、ミーティングで情報を共有する機会を設けていきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	2			事業所で使っている連絡ツールを上手く活用していきます。
	14 個人情報に十分注意しているか	13	2			個人情報は細心の注意をし、保護者にも再度、行き届くように説明していきます。
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	4	3	以前、津波警報が発令された際には、速やかにHUGで連絡がきたのは良かった。私が周知していなかったかもしれないが、緊急時に事業所が何処に避難するのかや感染症についてなど、マニュアルがもっと明確に分かればいいな、と思う。	緊急マニュアルを、保護者に周知、説明していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	4	2	年1～2回実施との事、音に敏感な子もいると思うので訓練するのち配慮がいろいろ実際は大変なのかも。	定期的に訓練する機会を設けています。保護者への情報共有を行う。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	2			今後は、子どもたちが主体となって楽しめるイベントを企画していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	15			関わり方が大変な時もある中で、スタッフの皆さん、笑顔で明るく子どもに察してくれ、いつも丁寧に関わってくれているので、感謝の気持ちでいっぱいです。	今後も継続していきます。
送迎対応	19 送迎は正しく行われているか	15				職員間で事故防止を徹底しながら、安全に送迎できるように努めていきます。
運動療育	20 運動療育は役に立っているか	15				職員間で研修をしてスキルアップを図り、工夫していきます。
	21 今後やってほしい療育はあるか	2	10	3	言葉の伝え方、漢字認識など学習やコミュニケーション画の療育があると嬉しい。	SSTなどを取り入れていながら、コミュニケーションスキルアップに努めていきます。